

笑ってごらん

第 576 号 H. 29. 2. 24 発行

～今日のことば～

つねに「おかげさま」の気持ちを持って、陰口や悪口は慎み、相手の話をじっくり聴く姿勢を持つ。好感度や信頼はずいぶん高まります。(池上彰)

◇◆16日(木)、看護学科5学年全員が一堂に会し、看護師国家試験出発式が行われた。専門課程2年生の大試験に向けての決意、その2年生を後押しする下級生達の応援、そして、「数年後は自分の番…」という覚悟…、様々な思いが入れ混じった素晴らしい会になった。私を含め多くの先生方から激励を受けた受験生の表情はこれまでになく引き締まっていた。 ◆翌17日(金)、鹿児島県准看護師資格試験受験。そして、19日(日)、看護師国家試験受験。出発直前のインフルエンザをはじめとする感染症罹患の生徒情報に加え、国家試験前夜には高熱を出した生徒がいるとの情報まで飛び込んできて、「果たして全員無事に国家試験を受験できるのだろうか…」と心配がよぎった。しかし、何とか無事全員受験できたとのことだったのでホッとした。その後、准看護師資格試験・看護師国家試験ともに難しい、これまで見たことのない変わった問題があったとの報告が寄せられた。特に国家試験においては、私のような門外漢が聞いても「それって国家試験で問うもの？」と思われるような問題がいくつかあり、恐らく全国的にも反響は大きいものと思われる。発表は3月下旬。受験生にとってはドキドキな1ヶ月であろう。お疲れ様。 ◇◆温かいな～という日が続いたと思えば、雪が降ったり強風が吹き付けたり。そしてまた温かくなったり。三寒四温とはよくいったもので、この時期はめまぐるしく天気が変わる。そうこうしている内に季節は徐々に「春」に向かって行く。人も同じ。楽しい時ばかり過ごしていても成長はないに等しい。苦労を経験し、時には涙するようなことも必要。悩み、考え、対策を練る活動を通じて人は鍛錬されていくもの。苦しいことに直面することもあろうけれど、しっかり向き合おう。 ◇◆卒業式まで余すところ5日となった。昨日の予餞会においても後輩からのメッセージの中に「3年間お疲れ様でした」とか「ありがとうございました。これからも頑張ってください」など感謝の気持ちや激励の言葉が盛り込まれていたのが印象的だった。この3年間(専門課程2年生にとっては5年間)、たくさんの喜怒哀楽を経たことと思う。この間、多くの経験を通じ、知らず知らずの内に自分のできることが増え、自らの成長を感じる機会もあったことだろう。縁あって鳳凰高等学校に集った仲間たちとの思い出を大切に、これから新しい「道」を切り拓いて行って欲しい。「学び」に終わりは無い。社会に出ると「教科書」を使って学ぶことは少なくなるが、良書に触れ、知識を磨くことも大事。今後は多くの人との会話や数多くの経験から学ぶことが増えていくだろう。様々なことに挑戦することで多くの経験が得られ、「自分磨き」できると思う。皆さんの未来に栄えあれと心より願う。卒業おめでとう！！



感謝道

◇◆18日(土)～22日(水)、鹿児島県下一周駅伝競走大会が行われた。今回も本校から中村太悟先生が川辺チームメンバー入りした。中村先生個人としても出場10回目となる記念の大会であった。期間直前に「故障した」との報せを受けていたので心配していたが、3日目に1回だけではあったが出場できて良かった。23日の職員朝礼で「思わしくない成績であった」と反省を述べられていた。また、その悔しい思いを来年に反映させて欲しい。どの選手も大会にベストな状態で臨めるよう調整に余念がなかったことだろう。中村先生が走った3日目は強い雨が降っていた。体調の維持がかなり大変だったことと思う。今大会も様々なドラマが生まれ、新聞紙上に大きく取り上げられていた。中村先生をはじめとする全チームの選手の皆さん、感動をありがとう！！